



赤い羽根共同募金助成事業

地域ささえ愛事業研修会

普通ってなに？ 生きづらさってどういうこと

～ 疑似体験が発達障害の理解を深める ～

日にち

12月16日 午後1時30分～午後4時
(受付午後1時より)

会場 京和荘 【多目的ホール】 阿賀野市姥ヶ橋1104

内容

身近な人に対して、「なぜ分からないの」「どうして？普通はできるでしょ！」「努力が足りない！」と思ったことはありませんか？

そうした人たちは、**多くの人たちと異なる見え方、聞こえ方、感じ方をしている**かもしれません。これを心理的に疑似体験する研修会を行います。困っている方たちの気持ちを体験することを通して、私たちにできることを考えます。それによって、明日からのかわり方を変えることができるかもしれません。誰もがその人らしく暮らせる地域のこれからのため、一人一人ができることを一緒に考えてみませんか。

講師紹介

古田島 恵津子 氏 新潟大学教職大学院教授

発達障害のある児童・生徒の応援をする発達障害通級指導教室を長年担当してきた。できることに注目して伸ばすことで、本人も周りも驚くほど楽になる。早くからその効果に着目、効果を上げてきた。現在は、発達障害のある子どもたちへの支援ができる教師の育成や「誰もがわかる・できる」授業の実現に向けて教職大学院で取り組んでいる。一方、市民向けの講演経験も豊富で、発達障害をテーマにした講演に初めて触れる人にもわかりやすいと定評がある。



申込期限
12/7 (金)

申し込み
お問い合わせ

阿賀野市ボランティアセンター

電話 67-9203 ファックス 67-9204

主催 社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会